

## 観光社会資本の事例

テーマ	すべての人が利用できるバリアフリービーチ
【施設の状況写真】	
	
<p>沖縄県南部地域で唯一の施設全体がバリアフリー化されたパブリックビーチであり、すべての人が利用できます。</p>	<p>更衣室やトイレにアクセスする場所はスロープ等によりバリアフリー化されています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>週末には地元住民、観光客が海水浴やビーチパーティーでにぎわっています。</p>	<p>海開きフェスティバルにてエイサー等のイベントも開催しています。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>あざまサンサンビーチは地域住民、県民の海水浴場やビーチパーティー等の憩いの場として利用されています。また「東御廻い2004国際ジョイアスロンin知念村」のメイン会場にし、沖縄県島尻郡東部エリアの地域活性化をはかる新しい「沖縄体験」の機会を創出・普及する「健康・スポーツ・文化」イベントとして内外の交流を深め、新たな観光資源となっております。その他旅行ツアープランの中にあざまサンサンビーチにてバーベキューやシーカヤック等を行っておりますので年々県外からの観光客も増加しております。</p>	

テーマ	すべての人が利用できるバリアフリービーチ
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 あざまサンサンビーチ</p> <p>所在地 南城市 知念安座真</p> <p>事業名 港湾海岸環境整備事業</p> <p>事業主体 沖縄県</p> <p>事業期間 平成2年～平成11年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>海岸の保全</p> <p>南城市知念安座真地域はサンゴ礁リーフが発達しており海洋性レクリエーションに格好の場所であったが、台風時には砂浜の浸食が激しく、またレクリエーションの場としての海浜が少ないため早急な保全が求められておりました。このため周辺環境の美しさと調和した海岸保全施設の整備を進めてきました。</p> <p>観光客の誘致</p> <p>南部地区にある「斎場御嶽」等の史跡文化財を見学後、あざまサンサンビーチでバーベキューや海水浴、シーカヤック等を楽しむ観光プランがあり観光地の一部になっています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>バス：所要時間約45分 那覇バスターミナルより東陽バス「38番系統」に乗り、サンサンビーチ前にて下車</p> <p>車：所要時間約45分 那覇より国道329号から331号を東へ約32km</p>	
<p>【関連ホームページ】 旧知念村ホームページ観光スポット紹介</p> <p><a href="http://www.vill.chinen.okinawa.jp/kankou/framepage1.htm">http://www.vill.chinen.okinawa.jp/kankou/framepage1.htm</a></p>	